

教員養成の目標及び計画

本学は『新しい美と文化の創造』を建学の精神とし、学校教育法の定めるところにより、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究するとともに、社会に貢献し得る知的・道徳的及び応用的能力を持った有能な人材を育成することを目的とする」と学則に定め、各学部学科の人材養成目的をより具体的に規定している。これを基に、教育方針及び教育上の理念・目的および養成する人材像が教職課程における教員養成のための教学目标に合致するものであるとの観点から、大学院生活環境学研究科被服学専攻（高等学校教諭専修免許状（家庭））、服装学部ファッションクリエイション学科、ファッション社会学科（中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭））、造形学部デザイン・造形学科（中学校・高等学校教諭一種免許状（美術））に教職課程を設置している。

家庭の教職課程を設置している大学院生活環境学研究科被服学専攻は服装学の研究者の養成と、産業界で先端の技術や情報の開発にあたる専門家の育成を目的としている。服装学部は、服装学全般にわたる総合的かつ体系的な理論と高度な技術の教育と研究を推進するとともに、広く社会や産業界に有為な人材を育成することを学部としての目的とし、さらにファッションクリエイション学科（平成 28 年度入学生より）・服装造形学科（平成 27 年度入学生まで）は、服装学の基礎技術教育と造形・デザイン等の各分野の専門教育を通じて、広く社会やアパレルを中心とするファッション産業界において指導的役割を果たす専門的知識と技術を備えた人材育成、また、ファッション社会学科（平成 28 年度入学生より）・服装社会学科（平成 27 年度入学生まで）は、服装を総合的にとらえるために人文学、社会科学等の幅広い分野の教育研究を通じて、課題探求能力及び創造性に富む人材を育成し、創造性豊かな実践的指導力を備えた、教員の養成を目的としている。

美術の教職課程を設置している造形学部デザイン・造形学科は、ものづくりやデザイン及びアートに関わる感性豊かな教育研究を通じて、専門家並びに社会人として生活の質の向上に貢献できる人材を育成し、創造性豊かな実践的指導力を備えた、教員の養成を目的としている。

本学の教職課程教育において養成をめざす教師像についての共通キーワードとして、高い専門性（知識・見識・技能）、生徒（人間）理解、伝える力（コミュニケーション能力）の三つと捉えている。これらを備える教員を養成することが教職課程の目標でもある。

教職課程における 4 年間の流れ(概要)

1 年次

- 4 月 教職課程新入生オリエンテーション 教職課程履修登録
教職科目の履修開始
教職課程履修ノート配布・作成説明
- 10 月 教職課程履修ノート提出
- 2 月 介護等体験申込書配布
- 3 月 教職課程履修カルテ集約（1 年次分）

2年次

- 4月 介護等体験申込
教職課程履修ノート提出
- 5月 介護等体験事前教育（外部講師によるガイダンス）
- 6～1月 介護等体験（社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間）
- 10月 教職課程履修ノート提出
- 3月 教育実習校事前調査
教職課程履修カルテ集約（2年次分）

3年次

- 4月 教職課程履修ノート提出
教育実習履修審査資料作成
- 5月 教育実習履修希望届提出
教育実習履修審査
教育実習校内諾活動・決定（～9月）
- 10月 教職課程履修ノート提出
- 2月 教育実習集中事前教育（外部講師講義、文化学園大学杉並中学校・高等学校学習会）
教育実習個人記録作成
- 3月 教職課程履修カルテ集約（3年次分）

4年次

- 4月 教職課程履修ノート提出
- 5月 教育実習（～10月）（3週間）
- 7月 教育実習事後報告・事後指導（～10月）
- 9月 教職実践演習（中・高）の履修開始
教職課程履修ノート提出
- 11月 教育実習単位認定審査
教員免許状一括申請ガイダンス
- 3月 卒業式・教員免許状授与